

## 第4章 中世社会の成立 5、鎌倉文化 a.鎌倉文化

①鎌倉文化の特徴 [1 公家 ]の文化と[2 公家 ]の文化の併存

②公家の文化…3伝統文化 をうけつぐ。→4 過ぎ去った時代への懐古と尊重、歴史への興味

武家の文化…地方出身の[5**武士**]の6 素朴で質実な 気風→独自の教養や学問をもとめる

③新しい文化の背景

- ・大陸の新文化の流入…[7 **日宋**]貿易や、[8 **モンゴル**]の侵入をきらう[9 **僧**]の渡来
- ・経済の発展→文化への[10 **庶民**](農民など)の影響

④[11 **仏教**]の影響が文化のさまざまな分野に影響を与える。

### b. 学問と文芸

①「[12 **隠者** ]の文学」=仏教思想にもとづく思索的・批判的性格

- 1)[13 **西行**]…「山家集」(歌集)
- 2)[14 **鴨長明**]…「[15 **方丈記** ]」(随筆)＝「無常」観にもとづく
- 3)慈円…「[16 **愚管抄** ]」(歴史)＝歴史の原理([17 **道理** ])を探る

随筆…吉田兼好(鎌倉末)[18 **徒然草**]…思索の深まりをしめす

②貴族文学＝現実からの遊離、幻想的世界への沈潜の傾向

- 1)和歌…[19 **新古今和歌集** ](撰者[20 **藤原定家** ]・藤原家隆)  
最後の[21 **勅撰和歌集** ](古今和歌集に始まる)  
技巧的な表現を使いながら、観念的な美の境地を探る  
\*源実朝[22 **金槐和歌集** ]、万葉調
- 2)[23 **有職故実** ]…宮中の儀式、先例を研究(順徳天皇『禁秘抄』など)

③軍記物語…新興の武士の姿を生き生きと描く

- [24 **平家** ]物語…[25 **無常観** ]をもとに平家の興亡を描く。  
→[26 **琵琶法師** ]が平曲として伝える。

④武士の学問

- 北条実時 [27 **金沢** ]文庫を建て、和漢の書籍を集める  
[28 **吾妻鏡** ]＝鎌倉幕府の歴史を編纂する

⑤[29 **神本地仏垂迹** ]説＝度会家行「伊勢神道」を大成

### c. 芸術の新傾向

①彫刻…[30**運慶**]・湛慶父子・[31**快慶**]ら、写実的で力強い仏像や[32 **肖像**]をつくる  
「[33**東大寺金剛力士像** ]」「[34 **無着・世親** ]像」「重源上人像」など

特徴…[35 **天平** ]時代の伝統を受け継ぎ、新しい時代の精神を生かした[36 **力強い写実性** ]と[37 **豊かな人間味** ]のあらわれ

②建築

大仏様＝[38 **東大寺南大門** ]([39 **重源**]設計)  
全体としての [40 **構造** ]的な美しさに主眼を置き、[41 **天平** ]な手法をとる

禅宗様(唐様)＝[42 **円覚寺舍利殿** ]  
[43 **細かい木材** ]を用いて、[44 **整然とした精巧な** ]な美しさをあらわす。  
折衷様＝観心寺金堂

なぜ、鎌倉芸術は東大寺に多いのか→ 源平の争いで多くの建物や仏像が焼失したため

③絵画 [45 **絵巻物** ]の全盛

- ・[46 **一遍上人絵伝** ]…民衆に教えを広げる一遍と当時の民衆の生活や風俗を生き生きと描く。
- ・「[47 **蒙古襲来絵巻** ]」…蒙古襲来時の肥後の御家人[48 **竹崎季長** ]の活躍を描く(宣伝！)

肖像画＝[49**似絵**]の流行(藤原隆信「源頼朝図」、信実)  
[50 **頂相** ](禅宗の僧が師の肖像を崇拜)

④工芸…武具の製作(甲冑の明珍、刀剣の長船・正宗など)

[51 **瀬戸焼** ](尾張→[52**加藤景正**])が中国の製法を伝える加藤景正など陶器生産の発展